

赤ちゃん学カフェ(サイエンスカフェ)

赤ちゃん学を出発点に、私たちの心と体の発達についてどのように研究をすすめていくのか、当センターの研究者が、それぞれの視点で講義を行ないます。赤ちゃん、お子様と一緒に気軽に参加していただき、科学をより身近に感じてもらえるようにお話をしています。私たちにとって地域の皆様と交流させていただく大切な機会であり、これからも続けていきたいと思います。



第1回 2016.9/3-10/1

初回特別講義

赤ちゃんの科学

講師 小西行郎

(赤ちゃん学研究センターセンター長/教授)

その1 講師 高野裕治

(赤ちゃん学研究センター特任准教授)

こころはどうやって調べられるのだろう

—心理学ことはじめ—



BABLAB



40

その2 講師 高野裕治

(赤ちゃん学研究センター特任准教授)

こころはいったいどこにあるのだろう

その3 講師 高野裕治

(赤ちゃん学研究センター特任准教授)

こころはときどきこわれるけど

ちゃんと支えあいます



第2回 2016.11/23

こどもをみる

—小児科医の視点から—

講師 渡部基信

(学研都市病院小児科医)

(赤ちゃん学研究センター嘱託研究員)

サイエンスカフェSP 2017/2/10・11

研究成果報告&迷路で遊ぼう！会

講師 高野裕治

(赤ちゃん学研究センター特任准教授)



第3回 2017.3/11

世界を知るための『こころ』と『からだ』

講師 谷口康祐

(赤ちゃん学研究センター特別研究員)

【 2016年度イベント報告 】

エコチルカフェ&エコチルフェスタ

エコチル調査にご協力いただいている方々の交流の場として、2012年から、お子様の成長に合わせて、座談会、音楽会、人形劇、手作り講習会などのイベントを実施しています。年に一度のエコチルフェスタでは木津川市の協力を得て音楽コンサートを開催し、エコチル調査の進捗状況、結果報告などを行なっています。

BABLAB



41



2012年から続いている座談会の様子





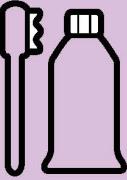
2016.5/31 7/16 11/12
手作り講習会消しゴムはんこ





2016.6/30 8/25 10/22
12/8
2017.1/27
リフレッシュ体操





2016.9/29
歯磨き講習会





2016.2/25
人形劇





エコチルフェスタ



2016.8/20
エリックさんとうたってあそぼう

【 赤ちゃん調査 研究者・スタッフからのメッセージ 】



赤ちゃん学研究のために実施している調査を「赤ちゃん調査」と呼んでいます。
赤ちゃんはもちろん、幼児、小学生、大人の方にもご協力いただいています。

研究者のひとこと

- 赤ちゃんを見ていると、時として大人と同じような行動をしますし、赤ちゃんらしい行動もたくさんします。研究者としてその違いがどうしてあるのかということにどんどん興味が沸いてきます。赤ちゃん、ひいては人のおもしろさと不思議を皆さんにも感じていただけるように、これからも活動していきたいと思います。
- 『研究』って聞くとなにか堅苦しく響くかもしれません、ひとことでいいますとまだ誰も知らないけれどなにか知りたいなと思うことを全力で、手探りで調査することです。お子さまを連れて、みんなと一緒にこころとからだの不思議について探ってみませんか。楽しい時間となることを願っております。
- 赤ちゃんはお医者さんをどうみているの？どう思っているの？赤ちゃんの目線でおうちを見たら？などなど、普段の病院の診療ではわからない赤ちゃんのことを調査しています。「お・も・て・な・し」はできませんが(笑)赤ちゃん、お母さんのお役に立つような成果で「おんがえし」をしたいと思っています。

スタッフの嬉しかったあれこれ

- ふっくら愛らしい赤ちゃんが初めて調査に参加してくれて、次に来てくれた時には、おしゃべりができる、その次は、お絵描きが上手になっていて…赤ちゃんの時から何度も調査にご協力くださるお子さんの成長を目の当たりにできて、感慨もひとしおです。
- 調査後、女の子と折り紙をしていた時のこと、私はうさぎを作ったものの、お世辞にもそうは見えないので、その子は「おめめを書いたらうさぎさん！」とにっこり渡してくれました。…ありがとうございます。もっと練習しておくからまた来てね。
- 最初は緊張した様子のお子さんも、研究者やスタッフと遊んだり話したりしているうちにじんぐりとれて、帰り際、名残惜しそうに何度もバイバイしてくれる姿…たまらなく愛おしいです。
- 調査が終わって「おばちゃんのおうちに一緒に帰る～！」って言われた時。
…おばあちゃんではなかったと思う(笑)
- 毎日赤ちゃんや子どもたちと会える、とても幸せなお仕事です。

BABLAB



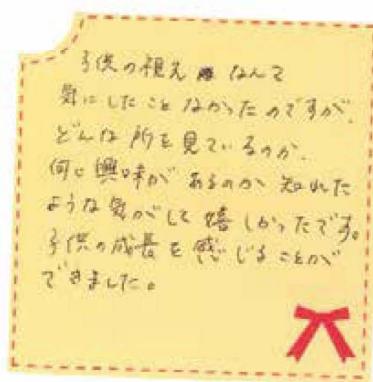
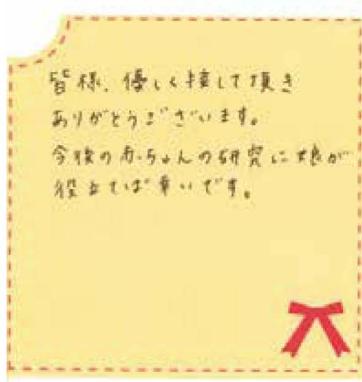
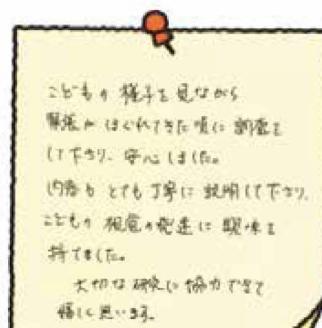
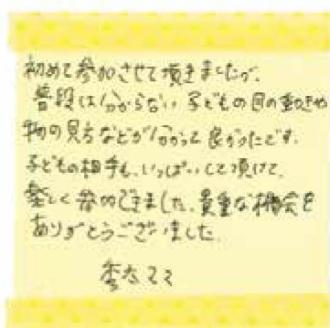
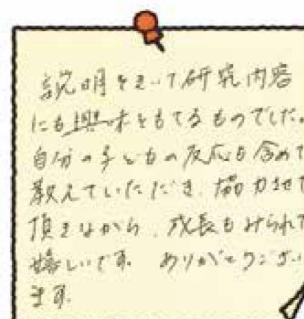
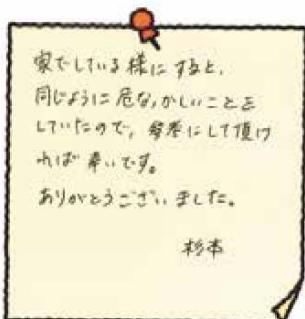
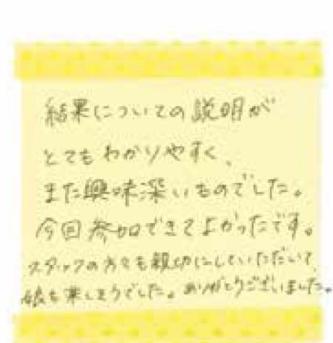
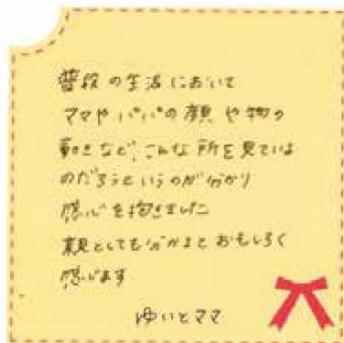
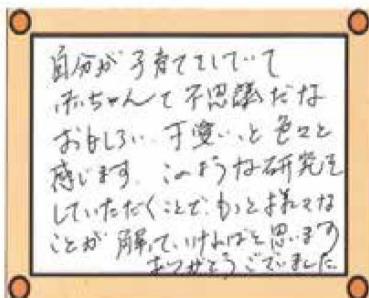
42



参加してよかったですと思っていただけるように、楽しい雰囲気づくりを心がけてご来館をお待ちしています。これからも調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

【赤ちゃん調査 参加者からのメッセージ】

参加者からのメッセージ



はじまりは
赤ちゃんから

【お知らせ】

赤ちゃん研究員募集

私たちちは不思議な力に満ちた赤ちゃんの研究をさまざまな角度から行なっており、赤ちゃん調査にご協力いただけるお子様とその保護者の方を募集しています。

研究の目的に合わせて、それぞれの調査の実施時期・日程が決まりましたら、募集する月齢(年齢)をホームページに掲載しています。ご登録いただいた後は、赤ちゃん学研究センターで実施するイベントを随時ご案内差し上げます。

詳しくは赤ちゃん学研究センターホームページをご覧ください。

<http://akachan.doshisha.ac.jp/recruitment>

共同研究公募

文部科学省 共同利用・共同研究拠点
同志社大学 赤ちゃん学研究センター

共同研究公募

同志社大学赤ちゃん学研究センターは、平成28年度より「共同利用・共同研究拠点」として文部科学省から認定を受けました。

赤ちゃん学研究センターは、胎児測定と児童発達との発達面と児童発達との発達面との関連性を、育児行動の新しい学術領域を開拓しようと活動しています。これまでの研究によると、発達のもう一つは、乳児の能力を明らかにして、出生後もみずから動き、成長、発達する赤ちゃんという新しい赤ちゃん観をつくり出しました。

今回の認定により、赤ちゃん学研究センターは「赤ちゃん学研究拠点」として、開拓するデータベースの整備を進め、広く関連研究者に開放し、赤ちゃん学における共同利用・共同研究を実施いたします。本公司研究室により、新たな知識による福音を目指しています。また、共同利用・共同研究による科学的な成果を、子どもたちの育つ場所に還元する活動もさらに推進してまいります。

計画共同研究

応募期間
2017年9月1日～11月20日（必着）

研究助成費
40万円（上限）

研究期間
2018年4月1日～2019年3月31日（1年）

公募分野
下記6分野

- 発生学分野
- 統計学・情報学分野
- 政策学分野（福祉学、経済学等を含む）
- 心理学・教育学分野
- 看護学分野
- 人間学分野（倫理学等を含む）

一般共同研究

公募分野
分野を超えて幅広く公募します

例：センター所有の機器（視線計測装置、脳波計測装置等）
データベース利用（7,000名の乳幼児被験者データ等）
赤ちゃん調査のリクルートなどお手伝いいたします

応募期間
隨時受け付けます

研究期間
採択後～2019年3月31日（更新可能）

Doshisha University Center for Baby Science

申請方法
詳しく述べるホームページをご覧ください。
<http://akachan.doshisha.ac.jp/>

【問い合わせ先】
〒519-0202 京都府京田辺市山本通2丁目11号
同志社大学 赤ちゃん学研究センター
TEL:0774-72-2017 / Email: center@akachan.doshisha.ac.jp
URL: <http://akachan.doshisha.ac.jp/>

BABLAB



44

紀要原稿規定

赤ちゃん学研究センター紀要『BABLAB』論文の原稿募集について

赤ちゃん学研究センター紀要『BABLAB』では、赤ちゃん学に関する論文の原稿を随時募集しております。投稿される方は、下記の規定に従い論文をご提出ください。

[投稿要領]

1. 投稿資格

投稿資格者は、本センターに所属する者、本センターの共同研究者、とする。ただし、編集委員会が適切と判断した場合にはこれら以外の執筆者からの投稿も可とすることがある。

2. 掲載可否および発行時期

投稿原稿の本誌掲載の可否は、編集委員または編集委員会が指名した専門家による査読に基づいて、編集委員会が責任をもって最終判断する。発行時期は編集委員会が決める。

3. 著作権

本誌に掲載された論文、および記事の著作権・版権は執筆者に帰属するが、本誌掲載と本センターのHP上にpdfファイルとして公開することに関しては同意を得たものとする。

4. 投稿方法

原則として電子メール
(center@akachan.doshisha.ac.jp) にて受けつける。
文章ファイルはword形式またはpdf形式にして添付すること。図表については、1点ごとに別ファイルで送付すること。執筆にあたっては、以下に定める執筆要領に従うこと。

[執筆要領]

1. 使用言語

原則として日本語・英語とする。ただし、編集委員会が認めた場合にはこれ以外の言語も認める。

2. 原稿の作成

原稿はすべてA4用紙を使用(設定)する。
総説論文と解説論文は以下の順で配列する。
1)表題、著者名、所属機関名
2)要旨(日本語400字程度、英語200語程度)
3)本文(字数制限はなし)
4)参考文献(数の制限はなし)
5)表、図(必要に応じて)
6)表、図の説明(必要に応じて)

3. 記述・用語について

日本語は原則として現代かなづかいを用いること。
英語の場合はイギリス式、アメリカ式の双方の記述が可能とするが、論文内で一貫しているようにすること。

日本語の句読点は、句点(.)と読点(,)を使用する。

英語はピリオド(.)とカンマ(,)を使用する。

数字は原則として算用数字を使用し、計量単位は原則として国際単位系(SI)を用いる。

引用文献はアルファベッド順に番号をつけ、本文の必要な箇所で[1]、[5,10-12]のように引用する。参考文献の記載方法は以下のようにする。

雑誌の場合「著者名:論文題名、雑誌名、巻、論文所在頁(年)」の順に書くこと

[1] Einstein, A.: How I created the theory of relativity. Physics Today 35, 45-47 (1982).

単行本の場合「著者名:署名、(出版社名、年)」の順に書くこと

[1] Piaget, J. : Origin of intelligence in children. (International University Press, New York, 1952).

[2] Descartes, R. : discourse on method. In J. Cottingham, R. Stoothoff, D. Murdoch (Eds.) The philosophical writings of Rene Descartes.

(Cambridge University Press, New York, 1985). (First published 1637).

(谷川多佳子訳「方法序説」岩波書店,1997).

4. 表、図

図は「図1」、「図2」のように(英語の場合は“Fig.1”など)、表は「表1」、「表2」のように(英語の場合は“Table.1”など)通し番号をつけること。図表の挿入箇所のおおよその位置を本文中に記すこと。

5. 著者校正

著者校正は1回とする。この際、印刷上の誤り以外の修正、図版の修正は認めない。

6. その他

執筆に関して質問があれば、編集委員会
(center@akachan.doshisha.ac.jp) に問い合わせること。



未来のため



BABL



Doshisha University Center for Baby Science

赤ちゃん学研究センター紀要『BABLAB』編集後記

■“BABLAB”の創刊号ができました。同志社大学に根を下ろして苦節9年、ようやくこんな紀要が発行できたとひとりで感激。谷口さん始め編集、執筆に尽力してくれた方々に感謝。ようやく船出にこぎ着けたこの紀要が長く続きますように、今後も皆さまのご協力をお願いします。予想以上に美しい出来上がりをみて、こうした情報を必要としている人はきっと大勢いるはず…。手にした方はお得、ですよ！

■赤ちゃん学研究センター紀要『BABLAB』創刊号いかがでしたでしょうか？読者の皆様も初めてなら、われわれ編集委員も初めて、という双方おつかなびっくりの船出になりました。是非是非、皆様のご意見をお送りください。こんな特集が欲しい、こんな研究やつて欲しい、など皆様のご意見が私達を良い方に導いてくださいます。末永く、赤ちゃん学研究センターをよろしくお願ひ申し上げます。

(松田佳尚)

■2008年10月に東京から京都南端へ。まさか9年もいることになるとは、予想もしませんでした。とにかくガムシャラな9年でしたが、10年目の入り口直前、この紀要を編むにあたり、あらためていろんな出会いや不思議な成りゆきを思い返し、あれもこれも赤ちゃん学研究センターの成長にとっては必要なことだったと実感してい

ます。お力添えくださった皆さまに感謝します！これからも“赤ちゃんに学べ”的精神で前に進みます。

(小野恭子)

■2008年、ひと部屋から始めた赤ちゃん調査も今年度は四部屋を稼働するまでに調査が増え、毎日にぎやかな可愛らしい声が聞こえてきます。これまで調査に参加してくださった、たくさんの皆様からのあたたかいお言葉に応える読み物にしたいと願って制作に携わりました。『BABLAB』が皆様ともっとお近づきになれるツールになりますように。

(小西かおり)

■『BABLAB』は、研究者はもちろん、子育て中の方や、赤ちゃん学に興味のある人にも読みやすい内容となることを目指して編集しました。赤ちゃん学研究センターで行っている研究者や活動がわかりやすくなるように執筆者の方々にも協力していただきました。『BABLAB』を通して、少しでも「赤ちゃん学」を知っていただき、興味をもっていただければ幸いです。雑誌作成にご協力していただいた方、時間がない中素晴らしいデザインを作っていただいた株式会社JITSUGYO様には、この場をお借りしましてお礼申しあげます。次号も私たちの研究をわかりやすくお伝えできるように頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いします。

(谷口康祐)

BABL



46

赤ちゃん学研究センター紀要
『BABLAB』編集委員会

編集委員長 小西行郎(赤ちゃん学研究センター長/教授)
委員 松田佳尚(赤ちゃん学研究センター特任准教授)
小野恭子(赤ちゃん学研究センター赤ちゃん学コーディネーター)
小西かおり(赤ちゃん学研究センターエコチル調査担当スタッフ)
事務局長 谷口康祐(赤ちゃん学研究センター特別研究員)

赤ちゃん学研究センター紀要『BABLAB』No.1

発行日 2017年11月20日

発行 文部科学省 共同利用・共同研究拠点「赤ちゃん学研究拠点」同志社大学 赤ちゃん学研究センター

〒619-0225 京都府木津川市木津川台4-1-1 同志社大学学研都市キャンパス(快風館)内

TEL:0774-73-1917 http://akachan.doshisha.ac.jp/

印刷・デザイン 株式会社JITSUGYO



Doshisha University Center for Baby Science



文部科学省 共同利用・共同研究拠点 「赤ちゃん学研究拠点」

同志社大学 赤ちゃん学研究センター

〒619-0225 京都府木津川市木津川台4-1-1 同志社大学学研都市キャンパス(快風館)内 Tel: 0774-73-1917
Email: center@akachan.doshisha.ac.jp

URL: <http://akachan.doshisha.ac.jp/>